商品の修理サービスはお買い上げの販売店がいたします。
修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買い上げの販売店にお申し付けください。

新商品などの商品選び、本機に関する取扱方法などのご相談や、販売店に修理のご相談ができない場合

『東芝 DVD インフォメーションセンター』 ［受付時間］365日／9:00〜20:00

一般回線からのご利用は **0120-96-3755**
（フリーダイヤルは携帯電話・PHS など一部の電話ではご利用になれません）

携帯電話からのご利用は **0570-00-3755**（通話料：有料）
（PHS・一部の IP 電話などでは、ご利用になれない場合があります）

［IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は］ **03-6830-1855**（通話料：有料）

［FAXからのご利用は］ **03-3258-0470**（有料）

- 「東芝DVDインフォメーションセンター」は株式会社東芝ビジュアルプロダクツ社が運営しております。
- お客様からご提供いただいた個人情報は、ご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 東芝グループ会社または協力会社が対応させていただくことが適切と判断される場合に、お客様の個人情報を提供することがあります。

愛情点検 ★長年ご使用のポータブルDVDプレーヤーの点検を！

このような症状はありませんか	● 再生しても音や映像が出ない ● 煙が出たり、異常なにおいや音がする ● 水や異物がはいった ● ディスクが傷ついたり、取り出しができない ● ACアダプターが異常に熱くなる ● その他の異常や故障がある	お願い	故障や事故防止のため、ACアダプターをコンセントから抜き、必ず販売店にご連絡ください。点検・修理に要する費用などは販売店にご相談ください。

株式会社 東芝
ビジュアルプロダクツ社
〒105−8001　東京都港区芝浦1−1−1
＊所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

Ⓣ PX1D00006733

TOSHIBA
Leading Innovation >>>

東芝ポータブルDVDプレーヤー

形名 **SD-P75SW**
SD-P75SR
SD-P75SB

取扱説明書

- このたびは東芝ポータブルDVDプレーヤーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
- お求めのポータブルDVDプレーヤーを正しく使っていただくために、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
- 最初に安全上のご注意をお読みください。
- お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。
- 保証書を必ずお受け取りになり、内容をご確認のうえ、大切に保管してください。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、本体の製造番号と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。

本書の見かた・使いかた

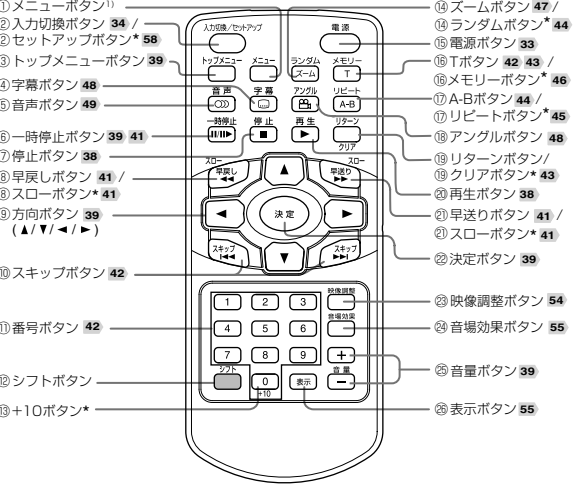
このページを開いて使用すると便利です。

操作方法は、特にことわりのない限り、リモコンでの操作を中心に説明しています。本体のボタンは、リモコンのボタンとマークや説明が同じであれば使いかたも同じです。

全体図　くわしくは、□内ページをご覧ください。

液晶画面
スピーカー
ディスクカバー
リモコン受光部
電源表示
右側面 4

- トップメニューボタン 39 DVDビデオディスクのトップメニューを表示します。
- メニューボタン ディスクのメニューなどを表示します。
- 入力切換ボタン 34 モード選択画面を表示します。
- 一時停止ボタン 39 41 再生を一時停止およびコマ送りします。
- スキップボタン 42 タイトル、チャプター、トラックへスキップします。
- 決定ボタン 39 選んだ内容を決定します。
- 方向ボタン（▲/▼/◀/▶）39 項目や入力位置を選びます。
- 音量ボタン（▲/▼）39 音量を調節します。
- 再生ボタン 38 再生を開始します。
- 停止ボタン 38 再生を止めます。
- 電源ボタン 33 本体の電源を入り切りします。電源を入れると点灯します。
- オープンボタン ディスクカバーを開けます。

リモコン くわしくは、 内ページをご覧ください。

* ：「シフト」を押しながらそのボタンを押すと働きます。

	おもな機能
① **メニュー**	ディスクのメニューなどの表示
② **入力切換**	モード選択画面の表示
② **セットアップ**	設定項目の一覧表示
③ **トップメニュー**	DVDビデオディスクのトップメニューの表示
④ **字幕**	字幕の表示と選択
⑤ **音声**	音声の選択
⑥ **一時停止**	再生の一時停止
⑦ **停止**	再生の停止
⑧ **早戻し**	再生の早戻し
⑧ **スロー**	スローモーション再生
⑨ **方向ボタン**	項目や入力位置の選択
⑩ **スキップ**	タイトル、チャプター、トラックの頭出し
⑪ **番号ボタン**	数字の入力
⑫ **シフト**	ボタンの機能の切換え
⑬ **+10**	10の位の数字の入力
⑭ **ズーム**	再生画像の拡大
⑭ **ランダム**	順不同の再生
⑮ **電源**	本体電源の入り切り
⑯ **T**	見たいシーンの指定画面の表示
⑯ **メモリー**	再生する順番の設定
⑰ **A-B**	指定区間のくり返し再生
⑰ **リピート**	くり返し再生
⑱ **アングル**	カメラアングルの切換え
⑲ **リターン**	前画面の再表示
⑲ **クリア**	入力値の取り消し
⑳ **再生**	再生の開始
㉑ **早送り**	再生の早送り
㉑ **スロー**	スローモーション再生
㉒ **決定**	選んだ内容の決定
㉓ **映像調整**	画質や画面サイズの設定
㉔ **音場効果**	音場効果の選択
㉕ **音量**	音量の調節
㉖ **表示**	操作状況や情報の表示

1)メニューボタン
DVDビデオディスクに記録されているメニュー画面などを表示するときに使います。
メニュー画面での操作は、「トップメニューを使う」(39ページ) と同様の手順で行います。ディスクによっては、メニュー画面が記録されていないものもあります。

右側面

左側面

前面

商品の保証とアフターサービス

保証書(別添)

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと、たいせつに保管してください。

補修用性能部品について

- 当社は、ポータブルDVDプレーヤーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理のために取りはずした部品は、当社で引き取らせていただきます。
  修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

保証期間	お買い上げ日から1年間です。ただし、業務用にご使用の場合、あるいは特殊使用の場合は、保証期間内でも「有料修理」とさせていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

修理を依頼されるときは〜持ち込み修理

商品の修理サービスは お買い上げの販売店がいたします。
修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買い上げの販売店にお申し付けください。

「故障かな…? と思ったときは」のページをご覧になって調べていただき、なお異常のあるときは、使用を中止し、必ずACアダプターを抜いてから、お買い上げの販売店に商品と保証書をご持参のうえ修理をご依頼ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

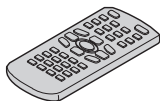
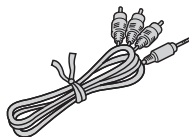
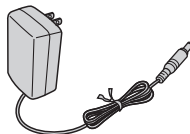
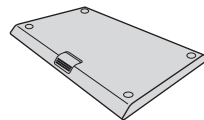
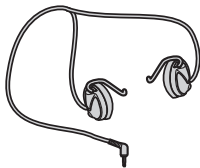
ご連絡していただきたい内容			
品　名	ポータブルDVDプレーヤー		
形　名	SD-P75SW SD-P75SR SD-P75SB	お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に		
ご 住 所	付近の目印なども合わせてお知らせください		
お 名 前		電 話 番 号	
お買い上げ店名	お客さまへ…おぼえのため、お買い上げ店名を記入すると便利です。 ☎(　　)　　—		

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

付属品

本機には以下の付属品があります。お確かめください。

ワイヤレスリモコン×1個 コイン型電池(CR2025)×1個 	AV入力出力端子専用 映像・音声接続コード×1本 	AC アダプター (EADP-18SB F)*×1 個 	バッテリーパック*×1個
ヘッドホーン×1個 	カーアダプター*×1個 ※DC12Vマイナスアース車専用 	取扱説明書（本書）×1冊 	

* ACアダプター、バッテリーパック、カーアダプターは、付属のもの以外は使用しないでください。また、これらの付属品を本機以外に使用しないでください。使用すると大変危険です。

もくじ

はじめに　お使いになる前に必ずお読みください。

準備

再生

機能設定

接続

その他

安全上のご注意

製品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■ 表示の説明

表示	表示の意味
⚠ 危険	"取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと"を示します。
⚠ 警告	"取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されること"を示します。
⚠ 注意	"取扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること"を示します。

*1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
*2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■ 図記号の例

図記号	図記号の意味
🚫 禁止	"🚫"は、**禁止**（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
● 指示	"●"は、**指示**する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
△ 注意	"△"は、**注意**を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

異常や故障のとき

⚠警告

■ **煙が出ていたり、変なにおいがするときは、すぐにACアダプターをコンセントから抜くこと**

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。安全を確認してからお買い上げの販売店にご連絡ください。

■ **内部に水や異物がはいったら、すぐにACアダプターをコンセントから抜くこと**

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

■ **落としたり、キャビネットを破損したときは、すぐにACアダプターをコンセントから抜くこと**

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

■ **ACアダプターが発熱したり、コードが傷んだりしたときは、すぐに電源を切り、ACアダプターが冷えたのを確認してコンセントから抜くこと**

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。

使用するとき

⚠警告

■ **修理・改造・分解はしないこと**

火災・感電の原因となります。
点検・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

■ **内部に異物を入れないこと**

ステープル、クリップなどの金属類や紙などの燃えやすいものが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 雷が鳴りだしたら、本機やACアダプターに触れないこと

感電の原因となります。

■ 水にぬらしたりしないこと

火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

■ 航空機内で使用するときは、航空会社の指示に従うこと

航空法で、離着陸時に本機を使用することは禁止されています。指示に従わず使用すると、運行装置に影響を与え、事故につながるおそれがあります。

■ ピックアップレンズに目を近づけたり、レーザー光を見ないこと

本機は通常、レーザー光を見られないようになっています。万が一故障や異常によって、レーザー光が発光された場合に見つめたりすると、視力障害の原因となります。

■ 歩行中や、乗り物を運転しながら使用しないこと

交通事故の原因となります。

⚠注意

■ ディスクカバーを閉めるとき、手を入れないこと

手をはさみ、けがの原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないこと

ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散ってけがや故障の原因となります。

■ ヘッドホーンをご使用になるときは、音量を上げすぎないこと

耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■ 回転中のディスクには触れないこと

禁　止

ディスクカバーを開いたとき、ディスクの回転が完全に停止していないことがあります。回転しているディスクに触れると、けがや故障の原因となります。

■ 電源を入れる前には音量を最小にすること

指　示

電源を入れる前には、接続しているアンプなどの音量を最小にしておいてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

■ 液晶表示画面が破損し、液体がもれてしまった場合は、液体を吸い込んだり、飲んだりしないこと

禁　止

中毒を起こすおそれがあります。万一口や目にはいってしまった場合は、水で洗い流し、医師の診察を受けてください。手や服についてしまった場合は、アルコールなどでふき取り、水洗いしてください。

設置するとき

警告

■ 屋外や風呂、シャワー室など、水のかかるおそれのある場所には置かないこと

風呂､シャワー室での使用禁止

火災・感電の原因となります。

■ 上にものを置かないこと

上載せ禁止

- ●金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体が内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
- ●重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。

■ ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かないこと

禁　止

本機が落ちて、けがの原因となります。

■ ひざの上などで使用しないこと

本機は多少温度が上がります。ひざの上などでのご使用は低温やけどの原因となります。低温やけどは、体温より高い温度のものを長時間あてていると紅斑、水疱等の症状をおこすやけどのことです。なお、自覚症状をともなわないで低温やけどになる場合もありますので、特に肌の弱い方はご注意ください。

⚠注意

■ 温度の高い場所に置かないこと

直射日光の当たる場所・閉め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となることがあります。また、破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。

■ 湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと

加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

■ 風通しの悪い場所に置かないこと

内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります

●じゅうたんや布団の上に置かないでください。
●テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
●押し入れや本箱など風通しの悪い場所に押し込まないでください。
●壁に押しつけないでください。

■ 移動させる場合は、ACアダプター・カーアダプター・外部との接続コードをはずすこと

ACアダプターやカーアダプターを抜かずに運ぶと、コードが傷つき火災・感電の原因となることや、接続コードなどをはずさずに運ぶと、本機が落下し、けがの原因となることがあります。

ACアダプターについて

警告

■ ACアダプターは家庭用交流100Vのコンセントに接続すること

指 示

交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。

■ ACアダプターを分解・改造・修理しないこと

分解禁止

火災・感電の原因となります。

■ ACアダプターのコードは

禁 止

- 傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしないこと
- 引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしないこと
- 無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないこと

火災・感電の原因となります。

■ 時々ACアダプターを抜いて点検し、プラグやプラグの取り付け面にゴミやほこりが付着している場合はきれいに掃除すること

指 示

プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。
（ACアダプターは待機状態のときに抜いてください。）

■ 通電中のACアダプターにふとんをかけたり、暖房器具の近くやホットカーペットの上に置かないこと

禁 止

火災、故障の原因となることがあります。

注意

■ ぬれた手でACアダプターを抜き差ししないこと

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

■ ACアダプターをコンセントから抜くときは、コードを引っ張って抜かないこと

引っ張り禁止

コードを引っ張って抜くと、コードやプラグが傷つき、火災・感電の原因となります。ACアダプターを持って抜いてください。

■ ACアダプターは、付属のものを使用すること

指　示

指定以外のACアダプターを使用すると、火災・故障の原因となります。付属のACアダプターは国内専用です。

■ 旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のためACアダプターをコンセントから抜くこと

プラグを抜け

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

■ 付属のACアダプターを本機以外の他の用途に使用しないこと

禁　止

本機以外の他の用途に使用すると、火災・故障の原因となります。

■ ACアダプターはコンセントの奥まで確実に差し込むこと

指　示

確実に差し込んでいないと、火災・感電の原因となります。

バッテリーパックについて

⚠危険

■ **充電中や使用中にバッテリーパックが異常に熱くなったり、異臭がしたり、煙が出たりした場合は、すぐにACアダプターをコンセントから抜くこと**

プラグを抜け

そのまま使用すると破裂・火災の原因となります。
常温に戻ったことを確認し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■ **指定されたバッテリーパックを使用すること**

指 示

指定以外のバッテリーパックを使用すると、火災・故障の原因となります。

■ **バッテリーパックにクギを刺したり、カナヅチでたたいたり、踏みつけたりしないこと**

禁 止

電極がショートすると発熱、破裂、発火の原因となります。

■ **バッテリーパックを加熱・分解・ショートしたり、火の中へ投入したりしないこと**

禁 止

破裂・火災の原因となります。

■ **バッテリーパックの電極（＋端子と－端子）を針金などの金属で接続しないこと。また、金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに持ち運んだり、保管しないこと**

禁 止

電極がショートすると、発熱、破裂、発火の原因となります。
バッテリーパックを持ち運ぶときや保管するときは、電極が金属に触れないように、ビニールなどで包んでください。

■ **不要になったバッテリーパックは、貴重な資源を守るために廃棄しないで電池リサイクル協力店へお持ちください。**
お持ち込みになるときは、＋端子、－端子の電極に絶縁テープを貼ること

指 示

電極がショートすると、破裂、発火のおそれがあります。

■ バッテリーパックを指定された充電方法以外で充電しないこと

指　示

破裂、発火の原因となります。

注意

■ バッテリーパックが本体にしっかりと取り付けられているか確認すること

指　示

正しく取り付けられていないと、持ち運びのときにバッテリーパックがはずれ落ちて、けがの原因となります。

コイン型電池について

警告

■ コイン型電池は、幼児の手の届く場所に置かないこと

禁　止

コイン型電池をお子様が飲み込んだりすると、中毒の原因となります。もし、飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

注意

■ リモコンに使用しているコイン型電池は

禁　止

●指定以外の電池は使用しないこと
●極性表示［（＋）と（－）］を間違えて挿入しないこと
●充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中へ入れないこと
●表示されている［使用推奨期限］を過ぎたり、使い切った電池はリモコンに入れておかないこと

これらを守らないと、液もれ・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目にはいったときはすぐにきれいな水で洗い医師の治療をうけてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

■ コイン型電池を廃棄する場合は、（＋）と（－）にそれぞれビニールテープなどをはること

指　示

そのまま廃棄すると、金属類でのショートによって、液もれ・発熱・破裂し、やけど・けがの原因となることがあります。廃棄する場合は、地域や地方自治体などの規則に従って、定められた場所に出してください。

■ 開封したコイン型電池を保管・携帯するときは、ポリ袋などに入れること

指 示

そのまま保管・携帯すると、金属類でショートして、液もれ・発熱・破裂し、やけど・けがの原因となることがあります。

カーアダプターについて

■ 走行中は、使用しないこと

禁 止

交通事故の原因となります。

■ エアバッグの動作を妨げる場所に置かないこと

禁 止

エアバッグシステムが正常に作動せず、事故の原因となります。

■ 運転者の視界を妨げる場所に置かないこと

禁 止

交通事故、けがの原因となります。

■ 運転操作の妨げになる場所や、運転装置に触れる場所に置かないこと

禁 止

交通事故の原因となります。

⚠警告

■ 24V車や12Vプラスアース車では絶対に使用しないこと

禁 止

カーアダプターはDC12Vマイナスアース車専用です。これを守らないと、火災の原因となります。カーアダプターを使用するときは、必ず車の取扱説明書をよくお読みください。

■ 分解・改造はしないこと

禁 止

火災、感電の原因となります。
シガーライターソケットやその周辺も改造して使用しないでください。

■ コード類がシートのレールやドア、窓などの可動部分にはさまれないようにすること

コードが傷つくと、火災、感電の原因となります。

⚠注意

■ カーアダプターは指定のポータブルDVDプレーヤー以外に使用しないこと

発煙、火災、感電の原因となります。

■ 本体にバッテリーパックを取り付けて、カーアダプターを使用しないこと

発煙、火災、感電の原因となります。
また、車のバッテリー等への影響が発生します。

■ ぬれた手でカーアダプターをシガーライターソケットに抜き差ししないこと
また、液体をこぼしたりしないこと

感電の原因となります。

■ 通電中のカーアダプターに長時間触れないこと

カーアダプターの温度が上がるため、長時間皮膚に触れていると、低温やけどなどの原因となります。使用後のシガーライターソケットは熱くなっていますので、注意してください。

■ カーアダプターを使用するときは、カーアダプターのプラグはシガーライターソケットに、カーアダプターのプラグは本体の電源入力端子にしっかりと差し込むこと

これを守らないと発煙、火災の原因となります。

使用上のお願い

取扱いに関すること

- 液晶画面を傷つけたり衝撃を与えないでください。液晶が破損し、故障の原因になります。
- ディスクカバーの中にあるピックアップレンズには、触れたり、清掃をしたりしないでください。市販されているクリーニングキットも使用しないでください。機能に支障をきたす場合があります。
- 移動させるとき
  引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、振動が伝わらないように、傷がつかないように毛布などでくるんでください。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
- 長時間ご使用になっていると本体が多少熱くなりますが、故障ではありません。
- ふだん使用しないとき
  必ず、ディスクを取り出し、電源を切っておいてください。
- 長期間使用しないとき
  機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて、使用してください。

置き場所に関すること

- 本機は水平な場所に設置してください。ぐらぐらする机や傾いている所、走行中の車内など不安定な場所で使わないでください。ディスクがはずれるなどして、故障の原因となります。
- 直射日光のあたる場所、熱器具の近く、締め切った車内など、温度が高くなる場所に置かないでください。故障の原因となります。
- 本機をテレビやラジオ、ビデオの近くに置く場合には、本機で再生中の画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやラジオ、ビデオから離してください。

自動車内での使用について

- 運転中は、操作したり、見たりしないでください。事故の原因になります。
- 移動中の車内などで本機を使用しないでください。振動などで、本来の再生ができなくなったり、ディスクが傷つくおそれがあります。
- 車内に放置しないでください。暑さや寒さで故障の原因となります。

結露（露付き）について

結露はディスクや本機を傷めます。よくお読みください。

例えば、よく冷えたビールをコップにつぐと、コップの表面に水滴がつきます。これを“結露（露付き）”といいます。この現象と同じように、本機の内部のピックアップレンズや部品、部品内部などに水滴がつくことがあります。

■“結露”はこんなときおきます。

- 本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
- 暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところに置いたとき
- 夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動したとき
- 湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋に置いたとき

■結露がおきそうなときは、本機をすぐに使用しない

結露がおきた状態で本機をお使いになりますと、ディスクや部品を傷めることがあります。ディスクを取り出し、本機のACアダプターをご家庭のコンセントに接続し電源を入れておくと、本機があたたまり水滴がとれますので、しばらく放置してからご使用ください。

レーザー製品の取扱いについて

- 本機は、レーザーシステムを使用しています。本製品を正しくお使いいただくため、この取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただいたあとも必ず保管してください。修理などが必要な場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
- 本取扱説明書に記載された以外の調整・改造を行なうと、レーザー被爆の原因になりますので絶対におやめください。
- 本機は、映像信号の読み取りのためにレーザーを使っています。弱いレーザー光のため、人体に大きな影響はありませんが、安全のため、絶対に製品を分解しないでください。

廃棄について

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。

免責事項について

- 地震や雷などの自然災害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

お手入れに関すること

- 本体や操作パネル部分のよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。
  ベンジン、シンナーは絶対使用しないでください。変色したり、塗装がはげたりする原因となります。
- 液晶画面についたよごれなどは、乾いた柔らかい布でふきとってください。

操作説明と実際の動作

この取扱説明書は、本機の基本的な操作のしかたを説明しています。

DVDビデオディスク、ビデオCDは、ディスク制作者側の意図で再生状態が決められていることがあります。本機はディスク制作者が意図した内容にしたがって再生を行なうため、操作したとおりには動作しないことがあります。再生するディスクに付属の説明書もご覧ください。

ボタン操作中に画面に[⊘]が表示されることがあります。[⊘]が表示されたときは、本機またはディスクがその操作を禁止しています。

リージョン番号について

本機のリージョン番号は2に設定されています。DVDビデオディスクに再生限定地域を表すリージョン番号が表示されている場合には、そのリージョン番号マークの中に2のように2が含まれているか、またはALLが表示されていないと、本機では再生できません。（リージョン番号が不適応の場合には画面に表示がでます。）

ディスクとメモリーカードの取扱い

再生できるディスク

ディスク	DVDビデオディスク	DVD-RWディスク	DVD-Rディスク	ビデオCD	音楽用CD	CD-ROM	CD-R/RWディスク*
ロゴ	DVD VIDEO / DVD VIDEO	DVD RW	DVD R R4.7	COMPACT disc DIGITAL VIDEO / VIDEO CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	COMPACT disc	COMPACT disc Recordable / COMPACT disc ReWritable
大きさ	12cm 8cm	12cm		12cm 8cm	12cm 8cm（CDシングル）	12cm	
内容	・映像(動画)＋音声	・映像(動画)＋音声 Videoモード/VRモード*CPRM対応 ＊ファイナライズ処理がされたもの ・音声(MP3/WMAファイル) ・動画(DivXファイル) ・静止画(JPEGファイル)		・映像(動画)＋音声	・音声	・音声(MP3/WMAファイル) ・動画(DivXファイル) ・静止画(JPEGファイル) ＊VIDEO CD (ビデオCD)フォーマットにも対応。ただしディスクによっては再生できないものもあります。	

お知らせ

- 上記以外のディスクは再生できません。
- 上記のマークが表示されていても、データの作り方やディスクの状態など、ディスクによっては再生できない場合があります。
- 上記のマークが表示されていても、DVD-RAMや規格外のディスクなどは再生できません。
- 本機はNTSCテレビ方式に適合したプレーヤーです。他のTV方式(PAL､SECAM)表示のディスクには使用できません。

DVD はDVDフォーマット/ロゴ ライセンシング株式会社の商標です。

■ ビデオCDについて

本機は、PBC付きビデオCD（バージョン2.0）に対応しています。（PBCとはPlayback Control（プレイバック コントロール）の略です。）ディスクによって、２種類の再生を楽しめます。

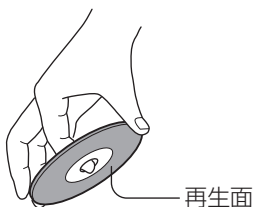
PBCなしビデオCD(バージョン1.1)

音楽用CDと同じように操作して、音声と映像（動画）を再生できます。

PBC付きビデオCD(バージョン2.0)

PBCなしのビデオCDの楽しみかたに加えて、画面に表示されるメニューを使って、対話型のソフトや検索機能のあるソフトを再生できます（メニュー再生）。この取扱説明書で説明されている機能が働かない場合があります。

ディスクの取り扱いかた

● 再生面には手を触れないでください。
たとえば、図のように持ってください。

● ディスクに紙やシールを貼らないでください。
● ディスクを折り曲げたり、表面を傷つけないでください。

ディスクのお手入れのしかた

● ディスクについた指紋やほこりなどのよごれは、画像の乱れや音質低下の原因となります。柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。
● シンナーやベンジン、アナログ式レコード専用のクリーナー、静電気防止剤などは絶対使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。

ディスクの保管のしかた

● 直射日光の当たる場所や、湿度の高い場所には保管しないでください。
● 浴室や加湿器のそばなど、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
● ディスクは必ず専用ケースに入れて保管してください。専用ケースに入れずに重ねたり、立てかけたりすると変形する原因となります。

著作権について

ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律で禁止されています。

これに従い本機では、著作権保護技術を適用しています。

ビデオデッキなどを接続してディスクの内容を複製しても、コピー防止機能の働きによって、複製した画像は乱れます。

本機は、Rovi Corporationならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はRovi Corporationの認可が必要であり、Rovi Corporationの認可なしでは、一般家庭用または他のかぎられた視聴用だけに使用されるようになっています。改造または分解は禁止されています。

再生できるメモリーカード

本機で再生できるメモリーカードは以下のとおりです。

カード	マーク(ロゴ)	記録内容
SDメモリカード	SD™	• 音楽(MP3、WMA) • 静止画(JPEG)
SDHCメモリカード	SD HC™	

miniSDカード、microSDカード/microSDHCカードは、必ず専用のSDカードアダプターに装着してから本機に差し込んでください。(26 ページ)

- SDロゴは商標です。
- SDHCロゴは商標です。
- SDXCカードには対応していません。

メモリーカードについて

メモリーカードの容量やメーカーによっては、再生できない場合があります。
対応していない種類のメモリーカードを本機に挿入しないでください。未対応のメモリーカードを挿入した場合、本機およびメモリーカードが故障・破損するおそれがあります。

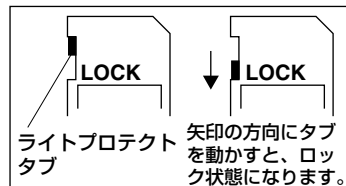
■ 記録画像について

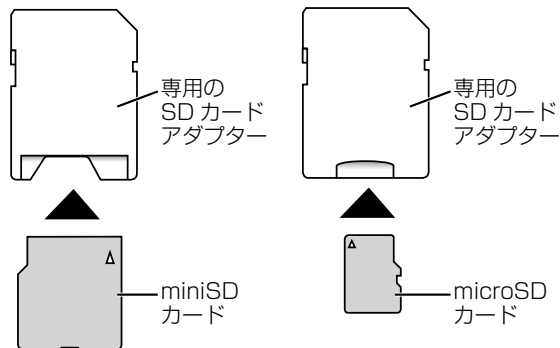
- 大切なデータはバックアップをとっておくことをお勧めします。本機でメモリーカードを使用することによって、万一何らかの不具合が発生した場合でも、データの損失や記録できなかったデータの補償、およびこれらに関わるその他の直接・間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- メモリーカードの取扱いかたについては、各取扱説明書をご覧ください。
- 通常のご使用でデータが破損(消滅)することはありませんが、誤った使い方をするとデータが破損(消滅)することがあります。記録されたデータの破損(消滅)については、故障や損害の内容・原因に関わらず当社は一切その責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 取扱い上のご注意

● メモリーカードを本機に差し込むときは、上下(表裏)の向きに注意して、最後までしっかりと差し込んでください。
● メモリーカードへの書込み、読出し中は、本機の電源を切ったり、メモリーカードを取り出したりしないでください。記録されているデータが破壊されるおそれがあります。
● メモリーカードは精密部品です。折り曲げたり、落としたりなどの無理な力や強い衝撃を与えないでください。
● 強い磁場や静電気が発生するところでの使用や保管はしないでください。
● 高温多湿なところやほこり、油煙の多い場所での使用や保管はしないでください。
● メモリーカードの金属部(金色の部分)にゴミや異物がつかないように、また手で触れないように注意してください。よごれは乾いたやわらかい布でふいてください。
● メモリーカードを持ち歩いたり、保管をするときには、静電気防止ケースに入れてください。
● 直射日光があたるところや、ストーブやヒーターなど熱源のそばに放置すると、故障の原因になることがあります。
● ズボンやスカートのうしろポケットに入れたまま、座席やいすなどに座らないでください。破損、故障の原因となります。
● 本機から取り出したメモリーカードが熱くなっていることがありますが、故障ではありません。
● メモリーカードには寿命があります。長時間使用するうちに書込みや消去ができなくなった場合には、新しいメモリーカードをお求めください。

■ メモリーカードの誤消去防止について

● SDメモリカードやSDHCメモリカードは、たいせつなデータを誤って消去しないために、カード側面のライトプロテクトタブを「LOCK」に切り換えると、ロック状態(書込み禁止状態)にすることができます。記録、編集、消去するときはロック状態を解除してください。

■ miniSDカード、microSDカードのアダプター装着のしかた

miniSDカード、microSDカードはSDメモリカードの規格と互換性があり、専用のSDカードアダプターを装着するとSDメモリカードとして使用できます。
本機で使用するときは、必ずアダプターを装着した状態でお使いください。

ご注意！

- microSDカードは直接SDカードアダプターに装着してください。microSDカードをminiSDカードアダプターに装着し、その上にSDカードアダプターを装着して使用しないでください。

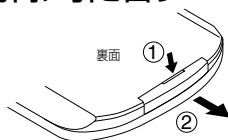
準備

ご使用になる前の準備です。

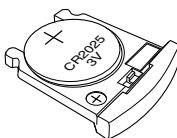
- リモコンの準備
- ACアダプターの接続
- バッテリーパックを使う
- 電源の入れかた／切りかた
- モードを切り換える

リモコンの準備

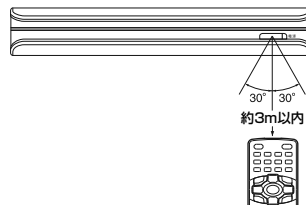
付属のリモコンは、所定のコイン型電池をいれてお使いください。コイン型電池をお使いになるときは、16ページの注意をよくお読みください。

1 **リモコンを裏返し、底部にあるツメを、矢印①の方向に押しながら、電池ケースを矢印②の方向に引き出す**

指先や爪を傷めないようご注意ください。

2 **コイン型電池CR2025の⊕面を上にして、電池ケースにはめこむ**

電池をケースから落とさないようご注意ください。

3 **コイン型電池をはめた電池ケースを、リモコンに入れる**

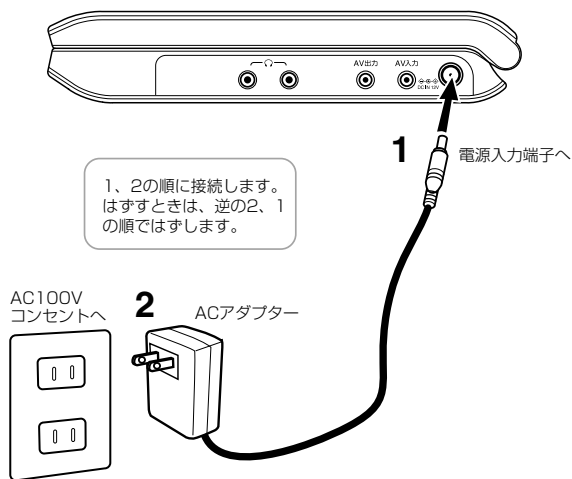
リモコンの操作範囲

本体から以下の範囲内で操作してください。

距離：リモコン受光部正面から約3m以内
角度：リモコン受光部から上下左右約30度以内
リモコン受光部に、太陽光や蛍光灯など強い光があたると、リモコンが動作しないことがあります。

- 受光部が見える正面の位置から操作してください。
- 落としたり、衝撃を与えないでください。
- 高温になる場所や湿度の高い場所に置かないでください。
- 水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。
- 分解しないでください。
- リモコンが動作しなかったり、到達距離が短くなったときは、新しいコイン型電池と交換してください。
- 指定以外のコイン型電池、または異物を挿入すると、リモコンの故障の原因となります。

ACアダプターの接続

室内のコンセントへは、付属のACアダプターを、以下のようにつないでお使いください。

⚠ 警告

- **ACアダプターは家庭用交流100Vのコンセントに接続すること**
  交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。
- **ぬれた手でACアダプターを抜き差ししないこと**
  感電の原因となることがあります。
- **付属のACアダプターを使用すること**
  指定以外のものを使用すると、火災・故障の原因となります。
  通電中、ACアダプターの表面温度が高くなる場合がありますが、故障ではありません。
  持ち運ぶときは、ACアダプターを抜き、温度が下がってから行なってください。

ご注意

- 付属のACアダプターは、本製品以外には使用しないでください。

バッテリーパックを使う

準備

付属のバッテリーパックを装着すれば、屋外など電源コンセントがない場所でもお使いになれます。

⚠ 危険

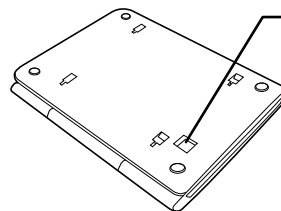
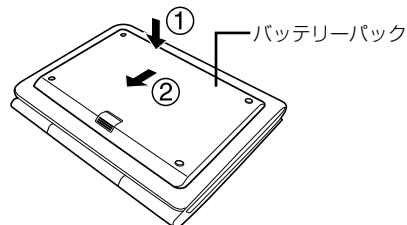
- **指定されたバッテリーパックを使用すること**
  指定以外のバッテリーパックを使用すると、火災・故障の原因となります。
- **バッテリーパックを加熱・分解・ショートしたり、火の中へ投入しないこと**
  破裂・火災の原因となります。
- **バッテリーパックは正しく取り付けること**
  バッテリーパックが本体にしっかりと取り付けられているか確認すること。バッテリーパックがはずれ落ちて、けがの原因となります。

■ バッテリーパックの取り付けかた

1 本機の電源を切る

2 ACアダプターや外部機器などの接続コードを、すべて本体からはずす

3 本機を裏返しにして置く

4 本機底面の端子カバーをとる

5 バッテリーパックを裏返し、バッテリーパックのツメを本体の４ヵ所の穴に差し込む(①)
次に②の矢印の方向にバッテリーパックをカチッと音がするまでスライドさせる

お願い

- 使用後は、電源プラグを抜き、本機からバッテリーパックをはずしてください。

お知らせ

- バックライトの明るさは、電源によって自動的に切り換わります。(ACアダプター接続時:[明]、バッテリーパック使用時:[暗])設定は変更できます(54ページ)。バックライトの設定を変更して使用すると、連続再生時間が短くなります。
- ACアダプターとバッテリーパックが付いた状態で、本機をご使用いただくことはできます。

■ バッテリーパックの充電

バッテリーパックは充電してお使いください。(電池残量が少なくなると、バッテリー表示[ ]が画面に表示されます。)特に、はじめてお使いになる前には、必ず充電を済ませてください。充電は、本機の電源が切れている状態で行ないます。

1 本機にバッテリーパックを取り付ける

2 本機にACアダプターを接続する
(ヘッドホーンなどのその他のコード類ははずした状態にしてください。)

充電が始まり、電源表示がオレンジ色に点灯します。
充電が終了すると、電源表示が消灯します。

- バッテリーパックが満充電に近い状態では充電は始まらず、充電表示は点灯しません。

お知らせ

- 充電は周囲の温度が5℃～35℃で行なってください。
- 充電を途中で中断すると、中断したときの電圧によっては、充電を再開しない場合がありますので、電源表示がオレンジ色に点灯している間(充電中)は、ACアダプターを抜かないでください。
- 充電中や使用中はバッテリーパックがあたたかくなりますが、異常ではありません。

バッテリーパックの充電時間の目安	約4時間

- あくまでも目安です。バッテリーパックの状態や周囲の温度などによって変わります。

バッテリーパック使用時の連続再生時間の目安	最大約5時間

上記は目安であり、数値を保証するものではありません。
(25℃、バックライトの設定[暗]、ヘッドホーン使用、新品のバッテリーパック使用時)

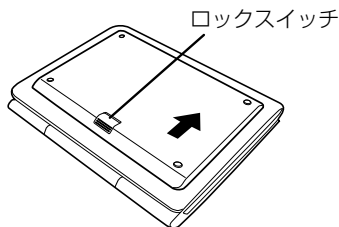
- バッテリーパックの状態、使用条件、周囲の温度などによって変わります。
- 低温の環境で使用すると、連続再生時間が短くなります。

■ バッテリーパックのはずしかた

1 本機の電源を切る

2 ACアダプターが接続してあれば本機からはずす

3 本機を裏返しにして置く

4 バッテリーパックのロックスイッチを押しながら、バッテリーパックを矢印の方向にスライドさせて取りはずす

5 端子カバーを取り付ける

お願い

- 端子カバーは、針金などの金属の接触によるショートから電極を保護するためにも、必ず取り付けてください。端子カバーを紛失した際は、裏表紙に記載の「東芝DVDインフォメーションセンター」にお問い合わせください。
- 本機の動作中（電源表示が緑色またはオレンジ色に点灯中）は、バッテリーパックを取りはずさないでください。

■ バッテリーパックの寿命について

バッテリーパックには寿命があります。正常に充電しても使用できる時間が著しく短くなった場合は、新しいバッテリーパックをお求めください。お求めについては、お買い上げの販売店または裏表紙に記載の「東芝DVDインフォメーションセンター」にお問い合わせください。（形名：SD-PBP75J）

■ バッテリーパックのリサイクルについて

不要になったバッテリーパックは、貴重な資源を守るために廃棄しないで電池リサイクル協力店へお持ちください。その場合、ショート防止のために、必ず金属端子部にテープ等を貼って絶縁してください。

一般社団法人JBRC　ホームページ

http://www.jbrc.com

リサイクル協力店の検索を行なうと、全国各地のリサイクル協力店が簡単に見つかります。

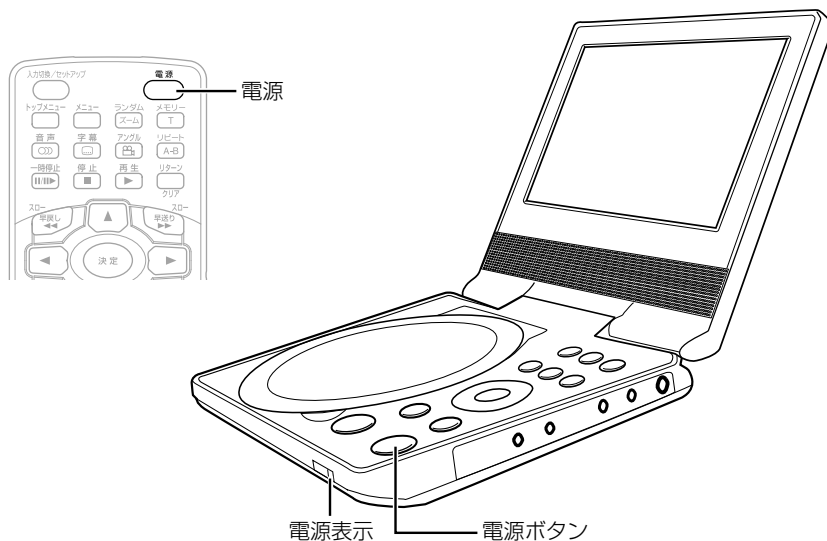
電源の入れかた／切りかた

本体またはリモコンの「電源」を押す

本体の電源ボタンと電源表示が点灯します。

電源を切るときは、もう一度押します。

ご注意！

はじめてお使いになるときは、電源を入れる前に必ず本体の「オープン」を押してディスクカバーを開け、中にある保護シートを取り出してください。

電源表示	電源の状態
緑	入
消灯	切
オレンジ色	充電中

モードを切り換える

本機では、モードを切り換えることでディスクやメモリーカード、本機につないださまざまな外部機器からの入力映像が楽しめます。

必要に応じて切り換えてお使いください。

1 「入力切換」を押す

モードの選択画面が表示されます。

- もう一度「入力切換」を押すと、選択画面が消えます。

2 方向ボタン（◀ / ▶）を押して、モードを選ぶ

モード	機能
DVD/CD	本機にディスクを入れて、その画像を本機の液晶画面で見るとき。
SD カード	メモリーカードを再生するとき。
AV 入力	接続したビデオデッキなどの外部機器からの映像を、本機の液晶画面で見るとき。

3 「決定」を押す

選択したモードに切り換わります。

お知らせ

- ディスクを再生したいときは、必ず［DVD/CD］にしてください。［DVD/CD］以外のモードでは、ディスクの再生はできません。
- AV出力中（66ページ）はモードの切り換えはできません。

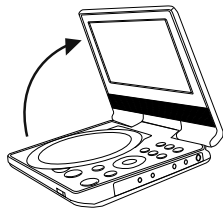
再生

ディスクを再生してみましょう。

- ディスクを入れる
- ヘッドホーンをつなぐ
- ディスクを再生する
- 再生の速さを変える
- 見たいシーンを探す
- 順不同に再生する（ランダム再生）
- くり返し再生する（リピート再生）
- 好きな順番で再生する（メモリー再生）
- 拡大する（ズーム再生）
- アングル（場面の角度）を切り換える
- 字幕の言語を切り換える
- 音声を切り換える
- 音楽／動画・画像ファイルを再生する
- 液晶画面の映像を調整する
- 広がりのある音にする
- 操作状況や情報を表示させる

ディスクを入れる

再生できるディスクは、22ページでご確認ください。

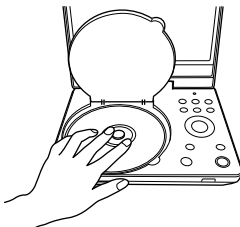
1 液晶画面部を開く

2 本体の「オープン」を押す

ディスクカバーがあきます。

はじめてお使いになるときは、ディスクカバー内にある保護シートを取り出してください。

3 ディスクをはめる

再生面を下にして、カチッと音がするまでディスクの中央付近を指で確実に押します。

はめかたが不完全だとディスクが認識されず、正常な再生ができません。また、ディスクを傷つける原因になります。

4 ディスクカバーを閉める

ディスクカバー手前の凸部を押して閉めます。

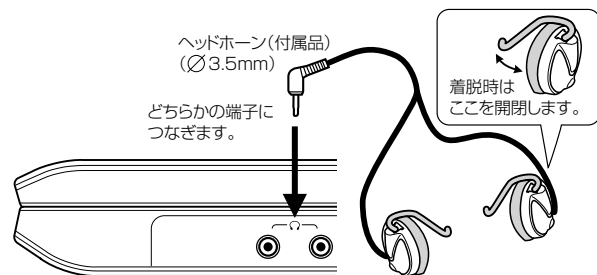
■ディスクを取り出すときは

本体の「**オープン**」を押して、ディスクカバーをあけ、完全に停止したディスクを（回転が続いていることがありますのでご注意ください）、ふちから静かに持ち上げてディスクホルダーからはずします。

⚠注意

- **回転中のディスクに触れないこと**
  けがや故障の原因となります。
- **ディスクカバーを閉めるとき、手を入れないこと**
  手をはさみ、けがの原因となることがあります。 禁 止
- **ディスクカバーは、無理な角度まであけないこと**
  故障の原因になります。
- **ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないこと**
- **本機で再生できないディスクやディスク以外のものを入れないこと**
- 再生中に本機を傾けたり、揺らしたり移動させたりしないでください。ディスクを傷めてしまいます。
- **長時間の再生のあとで、ディスクホルダーの中央部に触れないこと**
  ホルダーの中央部が熱くなっていることがあります。ディスクを取り出すときは十分注意してください。

ヘッドホーンをつなぐ

本機には、ステレオミニジャック（∅3.5mm）のヘッドホーンが接続できます。

- 接続するときは、いったん音量を下げ、再生が始まったらお好みの音量に調整してください。
- ヘッドホーンの抜き差しは、誤動作防止のため、本機の電源を切ってから行なってください。
- ヘッドホーンは、二つ接続できます。
- ヘッドホーンが接続されているときは、本体のスピーカーから音声は出力されません。

⚠注意

- ヘッドホーンをご使用になるときは、音量を上げすぎないこと。耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

ディスクを再生する

DVD-V　VCD　CD

本書では、機能ごとにお使いになれるディスクの種類を、以下のマークで表わしています。

DVD-V：DVDビデオディスク　VCD：ビデオCD　CD：音楽用CD

■ 準備

- 本機の電源を入れます。
- 再生するディスクを本機に入れます。

ご注意！

移動中の車内などで本機を使用しないでください。振動などで、本来の再生ができなくなったり、ディスクが傷つくおそれがあります。

1 34 ページの手順で［DVD/CD］モードに切り換える

2 「再生」を押す

再生が始まります。

- トップメニューが記録されたDVDビデオディスクや、プレイバックコントロール(PBC)付きビデオCDを再生したときは、メニュー画面が表示されます。DVDビデオディスクのときは「トップメニューを使う」をご覧ください。
- ディスクメニュー画面は、トップメニューボタンや、メニューボタンを押して表示させる場合があります。(DVDビデオディスクによって異なります。)
- CDのときは、メニューが表示されます。操作方法は、「音楽／動画・画像ファイルを再生する」をご覧ください。

3 再生を止めるには、「停止」を押す

続き再生機能（レジューム再生）について

再生を停止した位置を本機が記憶し、その続きから再生できる機能です。
再生中に「停止」を押して再生を停止したあとに「再生」を押すと、停止した位置から再生がはじまります。

- 続き再生の情報は、ディスク５枚分まで本機に記憶することができます。６枚目のディスクを入れると、一番古い記憶情報が消去されます。
- 続き再生をしないで、始めから再生したいときは、「停止」を２回押すと、記憶情報が消去されます。

お知らせ

- PBC付きビデオCDを、「PBC」を「オン」の設定で再生しているとき（「機能設定」章を参照）にはこの機能は働きません。
- ディスクによって、レジューム再生の始まる位置が変わることがあります。

再生を一時停止する（静止画再生）

再生中に、「**一時停止**」を押す

画像が静止し、音声が消えます。

普通の再生に戻すには、「再生」を押します。

スピーカーとヘッドホーンの音量を調節する

リモコン

「**音量**」を押す

長押しもできます。

＋：音量を上げる
－：音量を下げる

本体

「**音量**」を長押しする

▲：音量を上げる
▼：音量を下げる

お願い

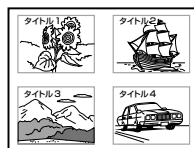
- 再生が終わったあと、メニュー画面などが表示されるディスクがあります。テレビに接続してご覧の場合、メニュー画面などの静止画面が長く続くと、画面に焼き付きが生じることがあります。必ず「停止」を押して、再生を終了してください。

トップメニューを使う

DVD-V　VCD　CD

1 「**トップメニュー**」を押す

ディスクのトップメニューが画面に表示されます。

例

2 **方向ボタン**（▲/▼/◀/▶）を押して、再生したいタイトルを選ぶ

タイトルに番号がついていれば、番号ボタンでも選べます。

3 「**決定**」を押す

選んだタイトルのチャプター 1から再生が始まります。

お知らせ

- この手順は基本的な操作手順です。ディスクによっては手順が異なりますので、操作手順が画面に表示されている場合は、その手順にしたがってください。
- トップメニューが記録されていないディスクでは、トップメニューは表示されません。
- ディスクの説明書によっては、トップメニューを表示するボタンを「TITLE（タイトル）」ボタンと呼んでいる場合があります。

■ スクリーンセーバー(焼付き防止機能)について

画面を焼付きから保護するための機能です(焼付き防止を保証するものではありません)。

ディスクが入っていない状態や停止状態がおよそ20分程続くと、スクリーンセーバーが自動的に働きます(「スクリーン・セーバー」(「機能設定」章を参照)を「オン」に設定しているとき)。スクリーンセーバーを解除するときは、本体またはリモコンのボタンのどれかを押してください。

■ オートパワーオフ機能

停止状態やスクリーンセーバーが約20分間続くと、電源が切れます。

再度お使いのときは、電源を入れなおしてください。

■ 液晶画面について

- カラー液晶ディスプレイは、非常に高精度な技術を駆使して作られていますが、一部に常時点灯する画素や点灯しない画素が存在することがあります。これらの画素は、少量に抑えるよう管理していますが、現在の最先端の技術でもなくすことは困難ですので、ご了承ください。
- 液晶画面は、見る角度によって微妙に明るさなどが変わります。きれいに見える角度に調節してご覧ください(なるべく画面に対して直角になる位置から見ることをおすすめします)。

再生の速さを変える

早戻し／早送りする

DVD-V VCD CD

再生中に、「**早戻し**」「**早送り**」を押す

◀◀：早戻しの再生

▶▶：早送りの再生

押すたびに速さが切り換わります。

普通の再生に戻すには、「再生」を押します。

• 本体の「スキップ」を長押しすると、早戻し／早送りの再生になります。

お知らせ

• DVDディスクでの早戻し、早送り再生中は、音声と字幕（副映像）は再生されません。
• 早送り、早戻しの速さはディスクによって異なります。
• VRモードで記録されたディスクは、記録状態などによって、早戻し／早送りができない場合があります。

コマ送りで再生する

DVD-V VCD CD

一時停止中に、「**一時停止**」を押す

1回押すごとに、1コマずつ進みます。

コマ送り再生中は、音声は再生されません。

普通の再生に戻すには、「再生」を押します。

スローモーションで再生する

DVD-V VCD CD

再生中に、「**シフト**」を押しながら「**スロー（早送り／早戻し）**」を押す

「スロー（早戻し）」ボタンを操作すると、戻し方向のスローモーションで再生します（DVDビデオディスク再生時）。

押すたびに、速さが切り換わります。

スローモーション再生中は、音声は再生されません。

普通の再生に戻すには、「再生」を押します。

お知らせ

• 速さの表示はおおよそです。再生するディスクによっても異なります。

見たいシーンを探す

DVD-V VCD CD

前後のチャプター／トラックへスキップする

1 「スキップ」をくり返し押して、再生したいチャプター／トラック番号を出す

選んだチャプター／トラックから再生が始まります。

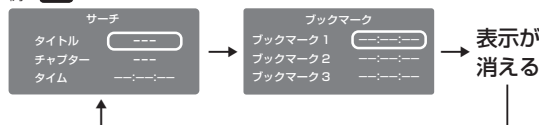
▶▶I：一つ先のチャプター／トラックの先頭から再生します。

I◀◀：現在のチャプター／トラックの先頭から再生します。
連続して２度押しすると、一つ前のチャプター／トラックの先頭から再生します。

番号を指定してシーンを探す

1 「T」を数回押して、画面に［サーチ］を表示させる

押すたびに、表示が以下のように切り換わります。

例：DVD-V

2 方向ボタン（▲/▼）を押して、シーンを探す方法を選ぶ

- タイトル、チャプター、トラックで探したい場合は、［タイトル］、［チャプター］、または［トラック］を選びます。
- 見たいシーンを、ディスクの経過時間を指定して探したい場合は、［タイム］を選びます。

CDの場合：
［タイム］　現在のトラックの経過時間を指定
［ディスクタイム］　ディスク全体の経過時間を指定

3 番号ボタンを押して、番号を入力する

- タイトル／チャプターの例：「25」を入力するには「2」→「5」の順に押します。

DVDビデオディスクでは、［タイトル］と［チャプター］の入力位置を、方向ボタン（▲/▼）で切り換えられます。

- タイムサーチの例：１時間25分30秒の経過時間を入力する

「1」→「2」→「5」→「3」→「0」

4 「再生」または「決定」を押す

指定した箇所から再生が始まります。

再生

お知らせ

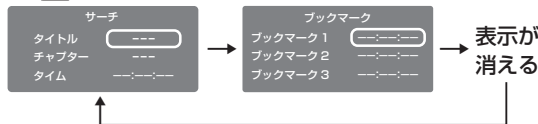
- 番号を設定前に戻す場合は、「シフト」を押しながら「クリア」を押してください。
- タイトル番号の記録されていないディスクでは、タイトル番号を指定することはできません。
- ディスクやシーンによっては、経過時間を使ってシーンを探すことができないことがあります。

目印をつけて好きなシーンを再生する(ブックマーク機能)

次の「目印(ブックマーク)をつける」を行なって、あらかじめブックマークを登録してから操作してください。

1 再生中に、「T」を数回押して、画面に[ブックマーク]を表示させる

押すたびに、表示が以下のように切り換わります。

例：DVD-V

2 方向ボタン(▲/▼)を押して、登録されているブックマークを選び、「決定」を押す

選んだ箇所から再生が始まります。

■目印(ブックマーク)をつける

3箇所まで登録できます。

1 目印をつけたい箇所で、「**一時停止**」を押して、再生を一時停止させる

2 「**T**」を数回押して、画面に[ブックマーク]を表示させる

3 **方向ボタン**(▲/▼)を押して、登録先を1、2、3から選ぶ

取り消すときは、「T」を押して表示を消します。

4 表示が[−− : −− : −−]でないときは、「**シフト**」を押しながら「**クリア**」を押して、設定内容を取り消す

5 「**決定**」を押す

一時停止した箇所が、ブックマークとして登録されます。

お知らせ

- ディスクや場面によっては、ブックマークに登録できないことがあります。
- ブックマークは、電源を切ったり、ディスクカバーをあけると消えます。

順不同に再生する(ランダム再生)

DVD-V VCD CD

1 **再生中に、「シフト」を押しながら「ランダム」を押して、画面に[ランダム]を表示させる**

押すたびに、[ランダムオフ]と[ランダム]が切り換わります。

操作しないと、画面の表示は数秒で消えます。

[ランダム]を表示させると、現在再生しているチャプターやトラックの再生が終わってから、ランダム再生が始まります。

■ 普通の再生に戻すには

[ランダムオフ]が表示されるまで、くり返し「**シフト**」を押しながら「**ランダム**」を押す

お知らせ

- ディスクによっては、ランダム再生できないものがあります。
- 以下の場合は、ランダム再生は解除されます。
  −電源を切ったとき
  −ディスクカバーをあけたとき
- 「停止」を2回押すと、ランダム再生を解除して再生を終了します。

くり返し再生する(リピート再生)

DVD-V VCD CD

範囲を指定してくり返し再生する(A-Bリピート再生)

1 **くり返し再生したい範囲の始点(A)で、「A-B」を押す**

画面に[ABリピート_A]の表示が出ます。

2 **くり返し再生したい範囲の終点(B)で、「A-B」を押す**

自動的にA点に戻り、指定した範囲(AB間)のくり返し再生が始まります。

普通の再生に戻すには、「A-B」を押します。

[リピートオフ]の表示が出ます。

お知らせ

- 「停止」を2回押すと、A-Bリピート再生を解除して再生を終了します。
- 現在のタイトルまたはトラックの中だけで、A-Bの設定ができます。
- ディスクによって、くり返し再生したときの始点(A)の位置が変わることがあります。
- A-Bリピート再生中は、「停止」と「A-B」以外の操作はできない場合があります。

タイトル、チャプターまたはトラックをくり返す

1 再生中に、「シフト」を押しながら「リピート」をくり返し押して、モードを選ぶ

押すたびに、リピートモードが切り換わります。

操作しないと、画面の表示は数秒で消えます。

現在再生しているチャプターやトラックの再生が終わってから、リピート再生が始まります。

対応しているリピートモード

ディスク	リピートモード	くり返す対象
DVD-V	チャプターリピート	現在のチャプター
DVD-V	タイトルリピート	現在のタイトル
VCD CD	トラックリピート	現在のトラック
VCD CD	全リピート	ディスク全体
DVD-V VCD CD	リピートオフ	普通の再生に戻ります。

お知らせ

- ディスクによっては、リピート再生できないものがあります。
- 以下の場合は、リピート再生は解除されます。
  －電源を切ったとき
  －ディスクカバーをあけたとき
- 「停止」を２回押すと、リピート再生を解除して再生を終了します。

好きな順番で再生する(メモリー再生)

DVD-V　VCD　CD

1 停止中に、「シフト」を押しながら「メモリー」を押す

設定画面が表示されます。

例：DVD-V

ビデオCDは、トラック番号の入力になります。

2 再生したい順番にタイトルとチャプター／トラックを設定する

1) **方向ボタン**(▲/▼)でT(タイトル)欄の［－－－］を選び、番号ボタンでタイトル番号を入力する

2) **方向ボタン**(▶)でC(チャプター)欄の［－－－］を選び、番号ボタンでチャプター番号を入力する
チャプター番号を入力せずにカーソルを移動させると、1)で入力したタイトル番号は[－－－]に戻ります。

3) 1)～2)をくり返して、再生したい順番を設定する

• ディスクに存在しないタイトル番号やチャプター／トラック番号を入力しても、[－－－]に戻り、入力は受けつけられません。

3 方向ボタン(▶)を押して、[▶再生]を選び、「決定」を押す

設定した順にメモリー再生が始まります。

■ 設定内容を取り消すには

• 方向ボタンで取り消したいタイトル番号、またはチャプター／トラック番号を選び、「**シフト**」を押しながら「**クリア**」を押すと、[－－－]に戻り、取り消されます。
• 画面上で[クリア]を選び、「**決定**」を押すと、設定したすべてのメモリー内容が取り消されます。

■ メモリー再生を中止するには

「**停止**」を2回押す

(設定したメモリー内容は消去されます。)

お知らせ

• ディスクによっては、メモリー再生できないものがあります。
• 以下の場合は、メモリー再生は解除されます。
－ディスクメニューを表示させたとき
－電源を切ったとき
－ディスクカバーをあけたとき
• メモリー再生中に、メモリー再生の設定画面を表示させると、メモリー再生が停止します。

拡大する（ズーム再生）

DVD-V VCD CD

1 再生中に、「**ズーム**」を押す

ズームアイコンが表示されます。

スロー再生中、一時停止中、早送り中、早戻し中でも操作できます。

例

2 ズームの倍率と位置を選ぶ

• 倍率：「**ズーム**」をくり返し押す

[X2]（2倍表示）

[X3]（3倍表示）

[X4]（4倍表示）

[オフ]（ズーム再生終了）

の4通りで切り換わります。

• 位置：**方向ボタン**（▲/▼/◀/▶）を押す

■ 普通の再生に戻すには

再生中に画面に [オフ] が表示されるまで、「**ズーム**」をくり返し押す

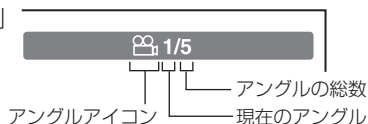
お知らせ

- ディスクによっては、ズーム再生できないものがあります。
- 場面によっては、ボタン操作が正しく働かないことがあります。
- 字幕やメニューの選択表示（マーク）などの副映像部分や画面表示部分は拡大されません。
- 電源を切ったり、ディスクカバーをあけると、ズーム再生は解除されます。

アングル（場面の角度）を切り換える

DVD-V

1 マルチアングルで記録されている部分の再生中に、「**アングル**」を押す

画面にアングルアイコン［ ］が表示されます。

タイトルごとに表示されます。マルチアングル記録部分が含まれていないディスクでは表示しません。

マルチアングルで記録されていないディスクやシーンではアングルの切換えはできません。

2 「**アングル**」を押して、アングルを選ぶ

押すたびに、アングルが切り換わります。

お知らせ

- アングルを選んでから、実際に画像のアングルが切り換わるまでには、少し時間がかかります。
- アングルを選んだ直後に一時停止させたときは、画像のアングルが切り換わらないことがあります。

字幕の言語を切り換える

DVD-V CD

1 再生中に、「**字幕**」を押す

現在の字幕設定が表示されます。

2 字幕設定の表示中に、「**字幕**」を押す

押すたびに、表示される字幕言語が切り換わります。

お知らせ

- 字幕が記録されていないディスクもあります。
- ディスクに記録されていない字幕言語を選んだときは、ディスクで決められている言語で再生します。
- 再生している場面によっては、字幕言語を切り換えても、すぐには切り換えた言語の字幕が表示されないことがあります。

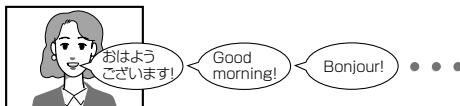
■ 字幕の表示と非表示を切り換えるには

再生中に、画面に［オフ］が表示されるまで、「**字幕**」をくり返し押す

お知らせ

- ディスクによっては、字幕が自動的に表示されるように設定されているものがあります。また、字幕機能をオフに設定しても、非表示にできない場合があります。
- ディスクによっては、字幕の言語や表示、非表示の切換えをディスクメニューを使って選ぶ場合があります。

音声を切り換える

DVD-V VCD CD

1 再生中に、「**音声**」を押す

現在の音声設定が表示されます。

2 音声設定の表示中に、「**音声**」を押す

押すたびに、ディスクに記録されている音声が切り換わります。

- 複数の音声が記録されていないディスクもあります。そのときは、音声の切換えはできません。

■ ビデオCDの音声チャンネルを切り換えるには

再生中に、「**音声**」を押して、音声チャンネルを選ぶ

お知らせ

- ディスクによっては、音声の切換えをディスクメニューを使って行なう場合があります。このときは、「メニュー」を押してディスクメニューを表示させてから音声を選んでください。
- ディスクに記録されていない音声を選んだときは、ディスクで決められている音声を再生します。

音楽／動画・画像ファイルを再生する

音楽用CD、音声ファイル(MP3/WMA)、動画ファイル(DivX®)、画像ファイル(JPEG)の再生ができます。

■MP3/WMAまたはDivX®ファイルの再生対応条件

項目	内容
対応メディア(MP3/WMA)	CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW、SDメモリーカード、SDHCメモリカード
対応メディア(DivX)	CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW
サンプリング周波数	32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
ビットレート	WMA：48 kbps ～192 kbps(CBR) MP3：32 kbps ～ 320kbps(CBR) DivX：8 Mbps以下
フォーマット	MODE 1
ファイルシステム	MP3：ISO9660レベル、UDF without interleave DivX：ISO14496
ファイル名	8文字以下で、拡張子「MP3」「WMA」「avi」または「divx」が付け加えられていること。 (例「○○○○○○○○.mp3」、 「○○○○○○○○.wma」、 「○○○○○○○○.avi」、 「○○○○○○○○.divx」) "?!><+*}{`[@]:;\ /.,"など、特殊な文字が使われていないこと。英数字のみで構成されていること。
ファイルの総数	650以下
WMAコーデック方式版	V2、V7、V8、V9(ステレオサウンドのみ)
DivXコーデック方式版	3、4、5、6(再生できるDivX®ファイル(Ver.6含む))通常再生にのみ対応しています。
DivX解像度	720×576(同等もしくはそれ以下)

■JPEGファイルの再生対応条件

項目	内容
対応メディア	CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW、SDメモリーカード、SDHCメモリカード
ファイルシステム	ISO9660、UDF without interleave
ファイル名	8文字以下で、拡張子「JPG」が付け加えられていること。(例「○○○○○○○○.jpg」) "?!><+*}{`[@]:;\ /.,"など、特殊な文字が使われていないこと。英数字のみで構成されていること。
ファイルの総数	650以下
ファイルサイズ	10Mバイト以下
フォーマット	BASELINE、PROGRESSIVE
解像度	Baseline JPEG:最大5760×4320 Progressive JPEG:最大5760×4320

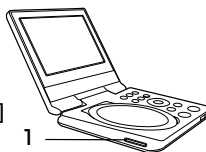
MPEG Layer-3 オーディオ・コーディング技術は、フランフォーハーIIS およびトムソンのライセンスによるものです。

お知らせ

- 対応または動作確認済みのメディアやファイルでも、状態や状況によっては動作しない場合があります。

メモリーカードを再生するとき

1　再生するメモリーカードをカードスロットに入れる

2　34 ページの手順で［**SDカード**］モードに切り換える

入れかた
「カチッ」と音がするまで差し込みます

取り出しかた
カードの中央を押し、ゆっくりとまっすぐ引き出します

お知らせ
・メモリーカードの読み出し中はメモリーカードを取り出さないでください。記録されているデータが破壊されるおそれがあります。

1 再生したいメディアを入れる

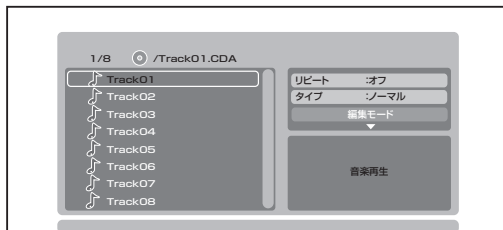
メニューが表示されます。

例

2 再生したいトラック／ファイルを**方向ボタン**（▲/▼）で選び、「**決定**」または「**再生**」を押す

再生が始まります。

JPEGファイルの場合は、１画像ずつ順に再生（スライドショー）します。

3 再生を止めるには「**停止**」を押す

■ 再生するファイルの種類を選択する

１枚のディスクに種類の異なるファイルが混在しているとき、指定した種類のファイルだけを再生できます。

1　**方向ボタン**で［フィルター］を選び、「**決定**」を押す

以下の画面が表示されます。

選ばれているファイルの種類の左側にチェックマーク［✓］が表示されています。

例

- ✓ 音声 ―― MP3／WMAファイルを指定
- ✓ 写真 ―― JPEGファイルを指定
- ✓ 映像 ―― DivXファイルを指定

2　ファイルの種類を**方向ボタン**（▲/▼）で選び、「**決定**」を押して、チェックマーク［✓］のつけはずしをする

3　選び終わったら**方向ボタン**（◀）を押して、前の画面に戻る

お知らせ
• 市販の音楽用CDのときは、ファイルの種類の指定はできません。

■ リピート再生をする

再生中に**方向ボタン**で画面の[リピート]を選び、「**決定**」を押す

「**決定**」を押すたびに、リピートモードが切り換わります。

- オフ：　普通の再生に戻ります。
  ↓
- トラック：　現在のトラックをくり返し再生します。
  ↓
- フォルダ：　現在のフォルダをくり返し再生します。
- 全リピート＊：ディスク全体をくり返し再生します。

＊音楽用CDの場合

■ ランダム／イントロ再生をする

再生中に**方向ボタン**で[タイプ]を選び、「**決定**」を押す

「**決定**」を押すたびに、タイプが切り換わります。

- ノーマル：　普通の再生に戻ります。
  ↓
- ランダム：　順不同に再生します。
  ↓
- イントロ：　前奏(最初の数秒間)のみを順に再生します。（音楽用CD、またはMP3/WMAファイル再生時のみ働きます。）

お知らせ

- メディアによっては再生できないものがあります。
- リピート、ランダム、スキップなど、一部リモコンで操作できる機能もあります。

音声ファイルの再生についてのお知らせ

- 著作権保護されているWMAトラックは、再生できません。

■ 画像を回転させる(JPEGファイル)

再生中に**方向ボタン**(▲/▼/◀/▶)を押す

押したボタンの方向に画像が回転します。

お知らせ

- 方向ボタンを押してから画像が回転するまで、多少時間がかかります。

■ 好きな順番で再生する（プログラム再生）

再生したいトラック／ファイルを並びかえて、好きな順番で再生できます。

1 **方向ボタン**で［編集モード］を選び、「**決定**」を押す

2 **方向ボタン**（◀）でトラック／ファイルが表示されている画面へカーソルを移動させる

3 **方向ボタン**（▲/▼）でプログラム再生したいトラック／ファイルを選び、「**決定**」を押す

選んだトラック／ファイルにチェックマーク［ ✓ ］が入ります。

4 **方向ボタン**で［プログラム入力］を選び、「**決定**」を押す

選んだトラック／ファイルが本体に記憶されます。

5 **方向ボタン**で［プログラム表示］を選び、「**決定**」を押す

プログラムされた内容が表示されます。

6 「**再生**」を押す

プログラムした順に再生が始まります。

■ トラック／ファイルを表示する

画面の［ファイル表示］を選び、「**決定**」を押すと、記録されているトラック／ファイルが表示されます。

■ プログラムした内容を取り消すには

1 ［編集モード］を選んだ状態で、「**停止**」を2回押して、再生を停止させる

2 **方向ボタン**（◀）でトラック／ファイルが表示されている画面へカーソルを移動させる

3 取り消したいトラック／ファイルを選び、「**決定**」を押す

選んだトラック／ファイルにチェックマーク［ ✓ ］がつきます。

4 **方向ボタン**で［クリア］を選び、「**決定**」を押す

選んだトラック／ファイルが、プログラム一覧から消えます。

お知らせ

- メディアによっては機能しないものがあります。
- 本機の電源を切ると、プログラム再生は解除されます。

液晶画面の映像を調整する

DVD-V VCD CD

本機の液晶画面が対象です。テレビなど外部機器につないで見る映像には効果はありません。

1 「映像調整」を押す

設定画面が表示されます。

2 方向ボタン（◀/▶）で［標準］または［メモリー］を選び、「決定」を押す

標準： お部屋で落ち着いた雰囲気で楽しむとき（日常、ご家庭で使用するとき）の推奨値です。

メモリー：お好みで調整した設定値で見られます。（調整のしかたは右表をご覧ください。）

▲/▼で選択	設定	◀/▶で調整
明るさ	0～100	暗くなる ⇔ 明るくなる
コントラスト	0～100	低くなる ⇔ 高くなる
バックライト	暗・中・明	暗くなる ⇔ 明るくなる
色の濃さ	-50～+50	淡くなる ⇔ 濃くなる
色あい	-50～+50	緑っぽくなる ⇔ 紫っぽくなる
シャープネス	-7～+7	やわらかい映像になる ⇔ くっきりした映像になる
画面サイズ切換	自動	映像にあわせて、16:9または4:3の画面サイズで表示します。
	16:9	画面いっぱいに映像を表示します。 ・ 16:9の映像はそのままの縦横比で表示します。 ・ 4:3の映像は横伸びします。
	4:3	4:3の画面サイズでを表示します。 ・ 4:3の映像は、左右に黒い帯がつきますが、そのままの縦横比で表示されます。 ・ 16:9の映像は左右に黒い帯がつき、縦伸びします。
初期設定に戻す	「決定」を押すと、調整した項目を、お買い上げ時の状態にもどします。	

操作しないと、設定画面の表示は数秒で消えます。

広がりのある音にする

DVD-V　VCD　CD

1 「音場効果」を押す

現在の設定が表示されます。

2 「音場効果」をくり返し押す

- [3D オフ]
  通常の音声です。
- [3D オン]
  本機のスピーカー、ヘッドホーンや、2本のスピーカーに外部出力した場合でも、広がりと奥行き感のある音場効果が得られます。

お知らせ

- 実際の音場効果は、音響設備やディスクによって異なります。

操作状況や情報を表示させる

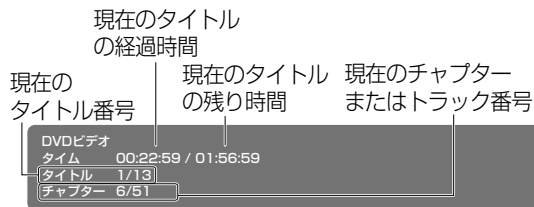
DVD-V　VCD　CD

1 再生中に、「表示」を押す

現在の操作状況や情報が表示されます。

例：DVDビデオディスク

現在のタイトルの経過時間
現在のタイトル番号
現在のタイトルの残り時間
現在のチャプターまたはトラック番号

DVDビデオ
タイム　00:22:59 / 01:56:59
タイトル　1/13
チャプター　6/51

もう一度「**表示**」を押すと表示内容が変わります。

更にもう一度「**表示**」を押すと、画面表示が消えます。

機能設定

お使いの条件やお好みに合わせて設定を変えられます。

● 初期設定の変更と機能の設定

初期設定の変更と機能の設定

DVD-V　VCD　CD

本機では、さまざまな機能があらかじめ初期設定されています。お使いの条件やお好みに合わせて設定を変えられます。

1 停止中に、「シフト」を押しながら「セットアップ」を押す

機能設定画面が表示されます。

2 設定項目（下表）のアイコンを、方向ボタン（▲/▼）で選び、方向ボタン（▶）を押す

3 設定項目を、方向ボタン（▲/▼）で選び、「決定」を押す

4 60 ページ以降の説明を参照して、項目の内容を、方向ボタン（▲/▼）などで設定し、「決定」を押す

他の項目を設定するときは、方向ボタン（◀）を押してから、手順２～４をくり返します。

5 「シフト」を押しながら「セットアップ」を押す

設定画面が消え、設定は終わりです。

アイコン	設定項目	対応ディスク	設定内容
言語設定	画面表示言語	DVD-V VCD CD	画面表示に使う言語を選びます。
	字幕言語	DVD-V VCD CD	各国語で記録されている字幕のうち、どの言語を優先して表示するかを設定します。
	音声言語	DVD-V VCD CD	各国語で記録されている音声のうち、どの言語を優先して再生するかを設定します。
	ディスクメニュー言語	DVD-V VCD CD	各国語で記録されているディスクメニューを、どの言語を優先して表示するかを設定します。

映像	TV画面形状	**DVD-V** **VCD** CD	本機の映像をテレビに接続してご覧になるとき、出力信号の画面形状を、テレビの形状に合わせて設定します。
	映像モード	**DVD-V** **VCD** CD	表示される映像のサイズをお好みで設定します。
音声	E.A.M.	**DVD-V** **VCD** **CD**	音場効果を選びます。（E.A.M. = Enhanced Audio Mode）
	D.R.C.	**DVD-V** VCD CD	夜間など、音量を下げて再生するときに、小さい音まではっきり聞こえるようにする機能を設定します。（D.R.C. = Dynamic Range Control）
レベル設定	パレンタルロック	**DVD-V** VCD CD	パレンタルロック機能の内容を設定します。
	PBC	DVD-V **VCD** CD	ビデオCD（PBC付き）のメニュー画面で再生をするかどうかを設定します。
	スクリーン・セーバー	**DVD-V** VCD CD	スクリーン・セーバー（焼付き防止機能）を働かせるかどうかを設定します。
出荷時設定	出荷時設定	—	すべての設定を工場出荷時の状態に戻します。
	DivXレジストレーション	—	DivXに関するお知らせが表示されます。

■ 言語設定

画面表示言語 DVD-V VCD CD

日本語：
日本語で画面表示します。
English：
英語で画面表示します。

字幕言語 DVD-V VCD CD

日本語：
日本語で字幕を表示します。
英語：
英語で字幕を表示します。
オフ：
字幕を表示しません。

お知らせ
- ディスクによっては、ディスクで決められている言語で字幕が表示されることがあります。
- ディスクによっては、字幕の言語はディスクメニューを使って選ぶようになっている場合があります。このときは、「メニュー」を押してディスクメニューを表示させてから字幕の言語を選んでください。

音声言語 DVD-V VCD CD

日本語：
日本語で音声を再生します。
英語：
英語で音声を再生します。

お知らせ
- ディスクによっては、ディスクで決められている音声になります。

ディスクメニュー言語 DVD-V VCD CD

日本語：
日本語でディスクメニューを表示します。
英語：
英語でディスクメニューを表示します。

お知らせ
- ディスクによっては、設定した言語のディスクメニューが記録されていないことがあります。この場合、ディスクメニューはディスクで初期設定されている言語で表示されます。

■ 映像

TV画面形状 DVD-V VCD CD

4:3：
従来の4:3テレビを本機に接続しているとき。

16:9：
16:9ワイドテレビを本機に接続しているとき。

お知らせ
- DVDビデオディスクには、再生できる画面形状があらかじめ設定されています。ディスクによっては、この設定の画面形状どおりに再生されないことがあります。
- 4:3の画面形状だけで記録されたDVDビデオディスクは、この設定にかかわらず4:3の画面形状で再生されます。
- 4:3のテレビを本機に接続した状態で「16:9」を選ぶと、ワイド映像が上下に伸びて表示されます。お使いのテレビに合わせて設定してください。

映像モード DVD-V VCD CD

フルサイズ：
画像はカットされず、上下左右を伸ばしてフル画面で表示します。

オリジナル：
ディスクに記録されているもとの画像サイズで表示します。

自動：
自動的に縦横比を合わせて表示します。上下左右に黒い帯がでます。

ワイド：
画像の上下または左右をカットして、フル画面で表示します。

お知らせ
- この設定の内容は、ディスクの記録の状態や接続しているテレビによっても異なる場合がありますので、お好みに合わせて設定してください。

■ 音声

E.A.M. (Enhanced Audio Mode) DVD-V VCD CD

ノーマル：
普通の音声です。
3D：
本機のスピーカーや、２本のスピーカーに外部出力した場合でも、広がりと奥行き感のある音場効果になります。

お知らせ
- リモコンの「音場効果」を押しても、同じ設定ができます。

D.R.C. (Dynamic Range Control) DVD-V VCD CD

オン：
ダイナミックレンジ機能が働きます。
オフ：
ダイナミックレンジ機能が働きません。

お知らせ
- ドルビーデジタルで記録されたディスクのときだけ、この機能が働きます。
- この機能の効果レベルは、ディスクによって変わることがあります。

■ レベル設定

パレンタルロック DVD-V VCD CD

パレンタルロックに対応したDVDビデオディスクには、あらかじめ規制レベルが設定されています。規制レベルの内容および規制方法はディスクによって異なります。たとえばディスク全体が再生できない場合のほか、過激な暴力シーンをカットしたり、別のシーンに自動的に差し換えて再生されます。ディスクによっては、パレンタルロックに対応しているかどうかの区別がつきにくいものがあります。必ず、設定したパレンタルロックの機能が働くことを確認してください。

■パスワードを設定する

はじめに、パレンタルロックの設定に使用する暗証番号を設定します。また、以下の手順で暗証番号を変更できます。

1 **方向ボタン**で［パスワード］を選び、「**決定**」を押す

2 **番号ボタン**を押して５桁の暗証番号（はじめてお使いになるときは「99999」）を入力し、「**決定**」を押す

3 ［パスワード］を選んだまま「**決定**」を押す

新しい暗証番号の入力画面が表示されます。

4 **番号ボタン**で新しい5桁の暗証番号を入力し、「**決定**」を押す

5 もう一度手順4で入力した暗証番号を入力し、「**決定**」を押す

新しい暗証番号が設定されます。

お知らせ

- 設定した暗証番号を忘れてしまった場合、手順2で「99999」を入力すると、暗証番号を解除することができます。

■パレンタルロックの規制レベルを設定する

1 **方向ボタン**で[パレンタルロック]を選び、「**決定**」を押す

パスワード画面が表示されます。

2 **番号ボタン**を押して、設定した5桁の暗証番号を入力し、「**決定**」を押す

レベルを設定できる状態になります。

3 [パレンタルロック]を選んだまま「**決定**」を押す

4 **方向ボタン**(▲/▼)でパレンタルロックの規制レベルを選び、「**決定**」を押す

パレンタルロックの規制レベルが設定されます。

選んだ規制レベルより上のレベルのディスクは、パレンタルロックの設定レベルを再生できるレベルに変更しないと再生できなくなります。たとえば、レベル7を設定すると、レベル8以上は、ロックされ再生できなくなります。

アメリカの規制レベルは、次のように対応しています。

レベル	規制
8：Adult	成人向け。(すべてのソフトが再生できます。)
7：NC-17	17歳以下の視聴は禁止。
6：R	17歳未満の視聴は保護者の同伴が必要。
5：PG-R	17歳未満の視聴は保護者の同意が必要。
4：PG-13	13歳未満の視聴は保護者の同意が必要。
3：PG	児童の視聴は保護者の同意が必要。
2：G	一般向け。視聴に制限なし。
1：Kid Safe	子供向けソフトのみ再生可能。

レベルは、将来のために用意されたものです。適切な設定レベルは、実際にパレンタルロックに対応したDVDビデオディスクをお買い上げになられたときに、お客様ご自身で動作させてご確認ください。

■パレンタルロックの規制レベルを変えるには

「パレンタルロックの規制レベルを設定する」の手順を行ない、規制レベルを変更してください。

PBC DVD-V VCD CD

オン：
ビデオCD（PBC付き）のメニュー画面を使って再生するとき。

オフ：
ビデオCD（PBC付き）のメニュー画面を使わず、普通の再生をするとき。

スクリーン・セーバー DVD-V VCD CD

オン：
スクリーン・セーバーが働きます。

オフ：
スクリーン・セーバーは働きません。

■ 出荷時設定

出荷時設定

はい：
設定を出荷時の状態に戻します。

いいえ：
現在の設定のままで選択を終了します。

DivXレジストレーション

DivXに関するお知らせが表示されます。
表示中に「**決定**」を押すと、「出荷時設定」の画面に戻ります。

接続

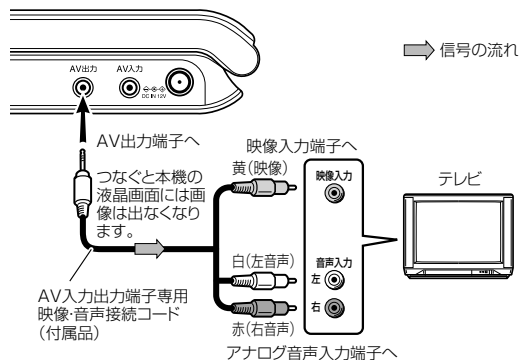
他の機器をつなぐことで、映像や音声がさらに楽しめます。

- **テレビの画面で見る**
- **他の機器の映像を本機の液晶画面で見る**
- **アナログ音声入力端子つきオーディオ機器とつなぐ**
- **カーアダプターを使う**

テレビの画面で見る

本機をテレビにつないで、本機の再生画像をテレビの画面で見られます。

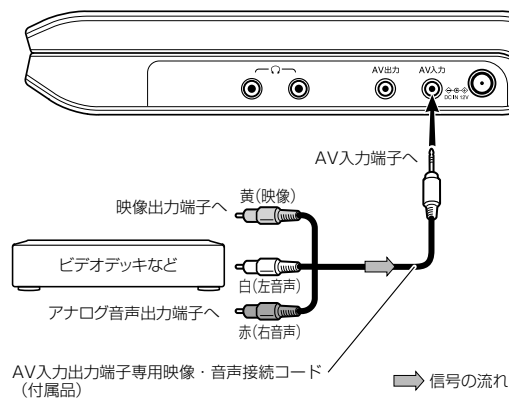
1 34 ページの手順で目的のモードに切り換える

2 テレビを本機のAV出力端子につなぐ

お知らせ

- 接続するテレビの取扱説明書もよくお読みください。
- 接続するときは、必ず本体およびテレビの電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜いてください。
- 本機とテレビは、直接接続してください。たとえば、本機からの映像をビデオデッキ、ビデオ内蔵テレビ、セレクターなどを通してご覧になると、コピー防止の働きによって正常な画像にならないことがあります。
- AV出力端子につないでいる間は、モードの切り換えができません。

他の機器の映像を本機の液晶画面で見る

ビデオデッキ、ビデオレコーダーなどの映像を、本機の液晶画面で見ることができます。

1 映像機器を、本機のAV入力端子につなぐ

2 34 ページの手順で[AV入力]モードに切り換える

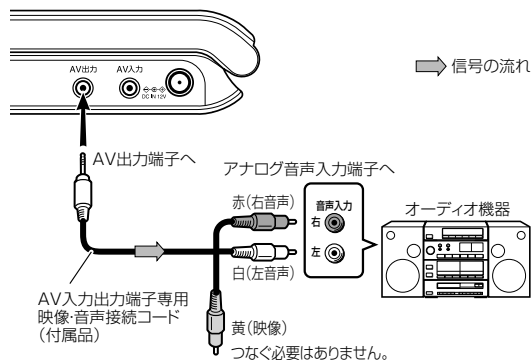
つないだ機器の映像を液晶画面で表示する状態(外部入力モード)になります。

お知らせ

- AV入力モードでは、映像の画面形状が変わることがあります。
- 接続したビデオデッキやゲーム機などから規格外の信号が入力されると、正しい映像にならないことがあります。例えば、画面の標的を撃つシューティングゲームは、液晶画面の色表示の特性上、使用できない場合があります。
- 外部機器から入力している間([AV入力]モード中)は、スクリーンセーバー機能とオートパワーオフ機能は働きません。

アナログ音声入力端子つきオーディオ機器とつなぐ

1 34 ページの手順で目的のモードに切り換える

2 オーディオ機器を、本機のAV出力端子につなぐ

お願い

- 他の機器を接続するときは、必ず本機および接続する機器の電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜いて行なってください。
- 本機のACアダプターを抜き差しするときは、必ずステレオアンプの電源スイッチを切っておいてください。電源を入れたままにしておくと、スピーカーを傷めるおそれがあります。
- 本機からの音声出力は、広いダイナミックレンジがあります。突然の大音量によりスピーカーを破損することのないように、音量を確認しながら調節してください。

お知らせ

- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- チューナーやラジオの近くに本機を置くと、AM放送に雑音がはいることがあります。このような場合は、チューナーやラジオとの距離を離してください。
- AV出力端子につないでいる間は、モードの切り換えができません。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

カーアダプターを使う

付属品のカーアダプターを使えば、自動車のシガーライターソケットから電源を供給できるので、車内での使用時に便利です。

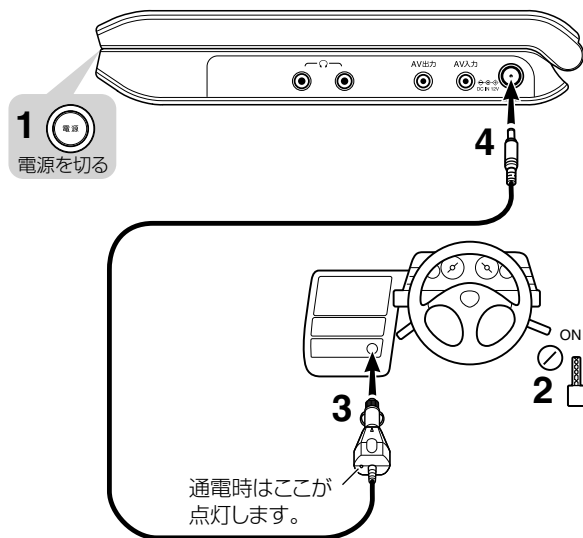
⚠注意

- **24V車や12Vプラスアース車では絶対使用しないこと**
  カーアダプターはDC12Vマイナスアース車専用です。これを守らないと、火災の原因となります。カーアダプターを使用するときは、必ず車の取扱説明書をよくお読みください。
- **カーアダプターを使用するときは、必ず専用のバッテリーパックをDVDプレーヤー本体から取りはずすこと**
  発煙、火災、感電の原因となります。
  また、車のバッテリー等への影響が発生します。

1 本機の電源が切れていることを確認し、専用バッテリーパックをはずす

バッテリーパックをはずさないと極めて危険です。

2 車のエンジンをかけて、シガーライターソケットに通電させる

車種によってはエンジンをかけなくても通電する場合があります。車の取扱説明書をご覧ください。

3 シガーライターソケットに、カーアダプターのプラグを差し込む

4 本機の電源入力端子に、カーアダプターのプラグを差し込む

（次ページへつづく）

5 本機の電源を入れる

6 はずすときはまず本機の電源を切ってから、次にカーアダプターのプラグを本機の電源入力端子から抜き、最後にシガーライターソケットからカーアダプターのプラグを抜く

7 エンジンを止めたり、車を離れたりするときは、必ず本機の電源を切ってから、カーアダプターのプラグを電源入力端子から抜く

お知らせ

- 車のエンジンをかけるときは、カーアダプターをシガーライターソケットから抜いてください。誤動作の原因になります。
- 車のシガーライターソケットが灰などで汚れているときは、必ず清掃してから使用してください。汚れたままで使用していると、プラグ部分に熱を持ち発熱や故障の原因になります。
- 人のいない車内など、高温になる場所にカーアダプターを放置しないでください。
- 車のエンジンを切るときは、まず本機の電源を切ってから、カーアダプターをシガーライターソケットから抜いてください。電源が入ったままエンジンを切ると故障の原因になります。
- 使用したあとは、シガーライターソケットとプレーヤー本体からカーアダプターを抜いてください。
- 車種によっては、カーアダプターのプラグがシガーライターソケットに合わない場合があります。無理に取り付けたりしないでください。
- カーアダプターに強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。損傷した場合は、使用しないでください。
- シガーライターソケットから抜くときは、コードを引っ張らず、必ずカーアダプター本体を持って抜いてください。
- 車のエンジンを切ったまま、カーアダプターを使って本機を使用しないでください。車のバッテリーの消耗の原因となります。
- 車種やシガーライターの位置によっては、カーアダプターが取り付けられない場合があります。
- シガーライターソケットや分配器をご自分で増設して使用しないでください。
  本機および周辺機器の故障・発火の原因になります。
- カーラジオなどに雑音が発生する場合には、カーアダプターをシガーライターソケットから抜いてみてください。
- 再生画像が乱れる場合には、本機をカーアダプターから離してみてください。

■仕様

動作温度：5～35℃

動作湿度：30～80%

保管温度：-10～50℃

保管湿度：20～80%

その他

お使いになるうえで役立つ情報です。

- 故障かな…？と思ったときは
- 仕様
- オプション品について
  （地上デジタルチューナー）

故障かな…？と思ったときは

アフターサービスをご依頼になる前に、次の点をお調べください。

症状	原因	処置
電源がはいらない。	• ACアダプターが抜けている。	• ACアダプターをしっかりと差し込む。
	• バッテリーパックがはずれている。	• バッテリーパックを取り付ける。
	• バッテリーパックが充電されていない。	• バッテリーパックを充電する。
バッテリーパックが充電できない。	• バッテリーパックの状態が満充電に近い。	• バッテリーパックの残量を減らしてから充電する。
液晶画面が自動的に消えた。	• オートパワーオフ機能が働いた。	• 電源を入れ直す。
画像が出ない。	• AV出力端子にコードがつながっている。	• 本機の液晶画面で見るときは、AV出力端子からコードを抜く。
画像が出ない。（本機の液晶画面以外で）	• 接続しているテレビの入力切換が正しくない。	• テレビの入力切換を、本機からの画像が映るように切り換える。
音声が出ない。	• 音声接続コードでつないでいる機器の入力切換が正しくない。	• 音声接続コードをつないでいる機器の入力切換を、本機からの音声が入力されるように切り換える。
	• ボリュームが小さすぎる。	• 音量ボタンで調節する。
	• 音声接続コードでつないでいる機器の電源がはいっていない。	• 音声接続コードでつないでいる機器の電源を入れる。
ディスク再生中、画像や音声が乱れることがある。	• ディスクがよごれている。	• ディスクを取り出し、きれいにする。
	• 早送り、早戻しをした。	• 画像が多少乱れることがありますが、故障ではありません。
	• 再生中に衝撃を与えた、または移動した。	• 画像や音声が乱れることがありますが、故障ではありません。正常な画像や音声に戻らないときは、一度停止させたあと、もう一度再生してください。
	• ディスクがしっかりとはまっていない。	• ディスクをいったんはずし、もう一度はめ直す。
接続しているテレビの画像が明るくなったり暗くなったり、ノイズが出たりする。（本機の液晶画面以外で）	• コピー防止機能が働いている。例えば、本機からの映像をビデオデッキ、ビデオ内蔵テレビ、セレクター、AVアンプなどを通してテレビでご覧になると、コピー防止の機能によって正常な映像にならないことがあります。	• 本機とテレビを直接接続する。

症状	原因	処置
再生が始まらない。	• ディスクがはいっていない。	• ディスクを入れる。
	• 本機で再生できないディスクがはいっている。	• 再生できるディスクの種類、テレビ方式やリージョン番号を確認する。
	• ディスクを裏返しに入れている。	• 再生面を下にして入れる。
	• ディスクがななめにはいっている。	• ディスクをきちんと収まるように入れる。
	• ディスクがよごれている。	• ディスクをきれいにする。
	• パレンタルロックが設定されている。	• パレンタルロックの規制レベルを変更する。
	• 本機のモードを[AV入力]に設定している。	• 本機のモードを、再生したいメディアにあわせて切り換える。(34 ページ)
ディスクで決められたとおりの再生ができない。	• リピート再生、ランダム再生、メモリー再生などをしている。	• これらの再生のあいだは、ディスクで決められたとおりの再生ができないことがあります。
操作ボタンを押しても動作しない。	• 静電気やノイズなどの影響で本機が動作しなくなっている。	• 電源を入れ直してみる。または、ACアダプターを抜き、もう一度差し込む。
リモコンがきかない。	• リモコンが受光部に向いていない。	• リモコンの送信部を本体の受光部に向けて操作する。
	• リモコンと受光部の間が遠すぎる。	• 約3m以内のところで操作する。
	• リモコンの電池が消耗している。	• 電池を交換する。
	• 本体のリモコン受光部に直射日光など強い光が当たっている。	• 本体を直射日光などを避けるような場所に置く。

仕様

■ 本体部

電源
入力端子DC12V（定格電流：1.5A（最大：バッテリーパック充電時））
AC100V 50/60Hz（付属のACアダプター使用時）

質量
785g

外形寸法
幅190×高さ32×奥行161mm

信号方式
日米標準NTSCカラーテレビジョン方式

使用レーザー
半導体レーザー　波長650nm/795nm

使用条件
温度：5℃～35℃
動作姿勢：水平

■ 本体端子部

映像・音声出力（AV出力）
1.0V(p-p)、75Ω、同期負、
AV出力小型端子（∅3.5mm）×1

映像・音声入力（AV入力）
1.0V(p-p)、75Ω、同期負、
AV入力小型端子（∅3.5mm）×1

ヘッドホーン端子
ステレオミニジャック（∅3.5mm）×2

■ 液晶画面部

画面サイズ
7V型ワイド

表示方式
透過型TN形カラー

駆動方式
アモルファスシリコンTFT（薄型トランジスタ）アクティブマトリクス駆動方式

画素数
横800×縦480ピクセル（有効画素率99.99%以上）

■ 付属品

AV入力出力端子専用映像・音声接続コード …1本
ワイヤレスリモコン(MEDR73JX) …1個
コイン型電池（CR2025）…1個
ACアダプター（EADP-18SB F) …1個
バッテリーパック(SD-PBP75J) …1個
ヘッドホーン…1個
カーアダプター（MEDC01AX）…1個
取扱説明書…1冊

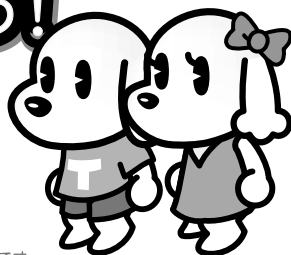
• 意匠、仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。
• この取扱説明書に描かれているイラスト、画面表示などは見やすくするために誇張、省略があり実際とは多少異なります。
• 本製品は、ご愛用終了時に再資源化の一助としておもなプラスチック部品に材料名表示をしています。

オプション品について（地上デジタルチューナー）

別売の地上デジタルチューナー（形名：SD-PDT12W）を本機に接続することで地上デジタル放送の視聴ができるようになります。

製品についての詳細は、販売店などにお問い合わせください。
接続・使用方法は、製品に付属の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ
• 地上デジタルチューナーでは、地上アナログ放送の受信はできません。

TOSHIBA
Leading Innovation >>>

ポイント 1 ポイントを貯めてプレゼントを当てよう！

見てみて！買っちゃった！さっそく使ってみよう！

ちょっとまって！

その前に「Room1048（ルームトウシバ）」に登録しなきゃ！

「Room1048」は東芝のデジタル商品のお客様登録サービスなんだよ。

東芝デジタル商品を買って、登録すると、ポイントが貯まって

抽選で素敵なプレゼントがもらえるんだ。

ポイント2 あれ？これどうするの？困ったときも登録しておけば便利！

ポイント3

会員限定のメルマガには
新商品情報がいっぱい！
キャンペーン情報も
いち早くGET！

ポイント4

ゲームや、壁紙、
スクリーンセーバーなど
楽しいコンテンツがいっぱい！
「Room1048」で遊ぼう！

ポイント5

1つの商品で
家族みんなが、
それぞれ登録できるよ！

[注意事項]

※お客様の個人情報の取扱全般に関する当社の考え方をご覧になりたい方は、(株)東芝の「個人情報保護方針」のページ<http://www.toshiba.co.jp/privacy/>をご覧ください。

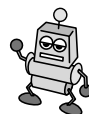
※Room1048のご登録はWebの専用ページからのみの受付となります。また、Room1048をご登録された場合は、商品同梱の登録はがきのご投函は不要です。

株式会社 **東芝**

ビジュアルプロダクツ社
デジタルプロダクツ&ネットワーク社

東芝ID事務局
〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1

Room1048 Toshiba **http://room1048.jp/**
詳しくはホームページへ

●Room1048 TIDサービスに関するお問い合わせ
TEL：043-279-2111　FAX：043-279-2112
受付時間：9:00～17:00　毎週土曜日・日曜日・祝日・当社休業日を除く
FAQ：https://digitaldoors.jp/tid/

Room1048登録対象の東芝デジタル商品

● ノートパソコン「dynabook」「Qosmio」(2000年以降発売モデル) ● ポケットPC(PDA)「GENIOe」 ● ハイビジョン液晶テレビ「REGZA」＜レグザ＞ ● 液晶テレビ/プラズマテレビ「face」● HDD&DVDレコーダー「VARDIA」＜ヴァルディア＞「RDシリーズ」「カンタロウ」● ポータブルDVDプレーヤー「ポータロウ」(2008年11月以降発売機種) ● HDDレコーダー「RD-H1」「RD-H2」● HD DVDプレーヤー ● HD DVD搭載ハードディスクレコーダー ● VHS&DVDビデオレコーダー ● HDD&DVDビデオレコーダー内蔵液晶テレビ ● DVDレコーダー ● デジタルオーディオプレーヤー「gigabeat」● HDDムービーカメラ「gigashot」● デジタルスチルカメラ「Allegretto」(1999年11月以降発売機種)「sora」 ● BS/CSチューナー ● ワイヤレスメディアステーション「Trans Cube」 ● プロジェクター(2003年9月以降発売機種) ※2008年11月1日現在の情報です。